

「PF通信(PF通信機能)」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)
 オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください
 黄色網掛けセルは、記載条件を確認の上、必要に応じ記入してください

APPLIC 登録番号: ★APPLICで記載

※赤字部分は、V3.5からV3.6の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2021
 ・プラットフォーム通信標準仕様V3.3
 ・アーキテクチャ標準仕様V3.3

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

(c) 申請者
 団体名: ★識別キー項目1
 団体のURL: (識別キー項目4つで
 APPLIC会員番号: ユニークになるように
 申請者が指定する)

(d) 製品情報
 代表製品名: ★識別キー項目2
 製品説明のURL: (オプション)
 複数製品で構成する場合追記: (オプション)
 複数製品で構成する場合追記: (オプション)
 複数製品で構成する場合追記: (オプション)
 製品識別情報(バージョン等): ★識別キー項目3
 リリース日(予定)(西暦年月日):
 対応OS:
 対応TCP/IPバージョン:
 (e) 製品のクラウドでの提供について
 提供の有無:
 参考となる情報(オプション):
 対応可能なネットワーク(オプション)
 LGWAN:
 専用線(閉域網):
 インターネット:

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

製品を申請する対象を選択する(★識別キー項目4)⇒

確認欄への記入: ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内/ 外/共通	サイト内・外対応のPF通信製品申請					
				PF対応のSOAPミドルウェア製品申請		サイト内のPF通信製品申請		サイト内・外対応のPF通信製品申請	
				製品・システム 確認欄	APPLIC 確認欄	製品・システム 確認欄	APPLIC 確認欄	製品・システム 確認欄	APPLIC 確認欄
1	【ミドルウェア的要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)								
1-1	TCP/IPによる通信が可能であること(CS-R020001)	必須	共通					◎	○
1-2	HTTPは、HTTP1.1を使用する(CS-R020002)	必須	共通					◎	○
1-3	SOAPは、SOAP1.1を使用する(CS-R020003)	必須	共通					◎	○
1-4	SOAP通信は、Basic Profile 1.0に準拠すること(CS-R020004)	必須	共通					◎	○
1-5	サイト内における通信セキュリティを実現できること								
1-5-1	TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のサーバ認証が利用可能であること(CS-R050001)	選択	サイト内						
1-5-2	TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のクライアント認証が利用可能であること(CS-R050001)	選択	サイト内						
1-5-3	HTTPベーシック認証が利用可能であること(CS-R050001)	選択	サイト内					◎	
1-5-4	TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)による通信路暗号が利用可能であること(CS-R050002)	選択	サイト内						
1-6	サイト間における通信セキュリティを実現できること	必須	サイト間					◎	○
1-6-1	TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のサーバ認証が利用可能であること(CS-R050001)	必須	サイト間					◎	
1-6-2	TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のクライアント認証が利用可能であること(CS-R050001)	必須	サイト間					◎	
1-6-3	TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)による通信路暗号が利用可能であること(CS-R050002)	必須	サイト間					◎	
1-7	添付ファイルのサポートができること(CS-R020006)	選択	共通					◎	
1-7-1	SOAP Messages with Attachments を利用可能であること(CS-R020007)	条件付き 必須(※)	共通					◎	
1-8	異常系処理に対応できること								
1-8-1	メッセージ送信側のSOAP処理系は、TCP/IP,HTTPレベルで検知した障害を、MEP実行系を持つ上位アプリケーションに通知できること(CS-R060005)	必須	共通					◎	○
2	【サービス基盤的要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)								
2-1	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること(CS-R032001)	必須	共通					◎	○
2-2	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること	必須	共通					◎	○
2-2-1	PF準拠のWSDL定義に対応するサービスインタフェースを提供できること(CS-R032003)	必須	共通					◎	
2-2-2	PF準拠のWSDL定義に対応し公開されるサービスを利用できること(CS-R032003)	必須	共通					◎	
2-3	標準仕様書で定義する電子封筒形式のメッセージを交換できること(CS-R020005)	必須	共通					◎	○
2-4	標準仕様書で定義する添付ファイルの形式に対応できること(CS-R020006)	選択	共通					◎	
2-4-1	メッセージ本体格納型および添付型で添付ファイルを交換できること(CS-R020007)	条件付き 必須(※)	共通					◎	
2-5	標準仕様書で定義するデータ交換システムパターンに対応できること(CS-R020008, CS-R020010)	選択	共通					◎	
2-5-1	データ交換システムパターンをサポートする場合(CS-R020008, [Type1], [Type2], [Type3], [Type4], [Type5])のどれかをサポートしなければならない。(CS-R020009)	条件付き 必須(※)	サイト内					◎	
2-5-2	データ交換システムパターンをサポートする場合(CS-R020010, [Type1], [Type2], [Type4])の全てを使用できること。(CS-R020011)	条件付き 必須(※)	サイト間					◎	
2-6	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンと異常系処理に対応できること	必須	共通					◎	○
2-6-1	メッセージ交換パターンとして、「リクエスト型受領Ackあり」「リクエスト・レスポンス同期型レスポンス」「リクエスト・レスポンス型受領Ack+非同同期型レスポンス」の3つのパターンを利用できること(CS-R060001~CS-R060004)	必須	共通					◎	
2-6-2	メッセージ交換パターン処理系にて、障害を検知した場合、標準仕様書で定義する異常系処理を行えること(CS-R060006, CS-R060007, CS-R060009)	必須	共通					◎	

※「条件付き必須」とは、すぐ上の準拠ルール(選択)を対応とする場合、当該ルールへの対応が必須となることを示す備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)

(f) 製品のクラウドでの提供について
 2021年5月現在準備中です。2021年10月より提供開始です。